

<b>団体名</b>	尾道市	<b>所属</b>	秘書広報課	<b>他団体等との連携</b>	企業
<b>連絡先</b>	広報広聴係 (0848)38-9377				

<b>取組事例名</b>	Wi-Fiフリースポット整備事業	<b>取組期間</b>	平成24年度～
--------------	------------------	-------------	---------

<b>取組の概要</b> ～ 公衆無線LANアクセスポイントの整備
尾道市の主要な公共施設及び市の施策に賛同する民間施設において、「Wi-Fiフリースポット（公衆無線LAN）」を整備し、無料のインターネット接続環境を提供することで、市民及び観光客の利便性を向上させる。

<b>取組の背景</b> ～ 地域の賑わい創出と円滑な観光情報の提供
<ol style="list-style-type: none"> <li>平成24年7月14日から29日にかけて、尾道、福山、三原の3市で海フェスタが開催された。海フェスタ開催に併せ、地域の賑わい創出と来訪者が観光情報を取得しやすい環境を整備するため、尾道駅前の広場をWi-Fiフリースポットとして整備した。</li> <li>また、「サイクリストの聖地」瀬戸内しまなみ海道を始めとして、本市でも外国人観光客数が増加しているが、外国人観光客は公衆無線LANへの接続環境に不満を持つことが多いとされている。</li> </ol>

<b>取組のねらい</b> ～ 「つながるまち」尾道のPR
Wi-Fiフリースポットを整備することによって、誰でも気軽にWi-Fiに接続できる環境を整え、スポットへの人の滞留による賑わいづくり、来訪者への円滑な情報提供、「つながるまち 尾道」のPRを図る。

<b>取組の具体的内容</b> ～ Wi-Fiフリースポットの整備促進
<ol style="list-style-type: none"> <li><b>概要</b> 平成24年度の海フェスタ開催を契機として、市の主要な公共施設及び市の施策に賛同する民間施設においてWi-Fiフリースポットの整備を順次進め、現在、30箇所以上の公共及び民間施設で整備が完了している。</li> <li><b>整備方法</b> 市の公共施設については、公共施設の担当課で整備を行っており、また、民間施設については、整備費及び維持費はそれぞれの主体で負担をお願いし、市の施策に賛同して整備を行った民間施設に対しては、市で作成した統一の案内掲示ステッカーを配布し、尾道市Wi-Fiフリースポット整備事業をPRしてもらっている。</li> <li><b>更なる利便性向上の取組</b> 初回のWi-Fiフリースポットへの接続完了後に自動表示される案内ページ（リードページ）からは、多言語化したホームページ・電子書籍に誘導し、外国人観光客が利用しやすいように工夫している。</li> </ol>



Wi-Fiフリースポットのサイン

## 取組を進めていく中での課題・問題点 ～ 使いやすさと導入施設の検討

### 1 登録手続き

W i - F i フリースポット導入に向けて、他の自治体等による導入事例を調べる中では、個別の登録手続きを求めている例が大半であった。

個別の登録手続きを必要とした場合には、セキュリティの確保といったメリットがある一方で、特に外国人観光客に関しては、言葉の壁等があって接続方法がわかりにくいとの声も聞かれた。

### 2 利用可能エリア

市の公共施設への整備のみでは、利用者の利便性の面で十分でなく、より多くの場所で利用可能とする方法の検討が必要であった。

## 創意工夫した点 ～ 民間施設との連携、誰でも気軽に接続

### 1 登録手続き

まずは、W i - F i フリースポットを活発に利用してもらうため、個別の登録手続きを不要とし、誰でも気軽にW i - F i に接続できるようにした。

### 2 利用可能エリアの拡大

市の公共施設における整備のみならず、賛同が得られた民間施設についてもW i - F i フリースポット化し、「つながるまち 尾道」の取組を進めることとした。

## 取組の成果（効果） ～ スポットへの人の滞留、観光情報へのアクセス向上

- 1 現在約30箇所の公共施設及び市の施策に賛同する民間施設において、W i - F i フリースポットの整備が完了した。W i - F i フリースポットは、推定で、毎月1万人以上が新規に利用している。
- 2 リードページからは多言語対応のホームページ、電子書籍への誘導が可能であり、外国人観光客が情報にアクセスしやすい環境を整えている。
- 3 尾道では、民間を主体とした様々なイベントも開催されており、W i - F i フリースポットが整備された施設では、インターネットを絡めた企画など多様なイベント展開が可能となっている。



W i - F i フリースポット整備施設  
(尾道商業会議所記念館前広場)

## 今後の展開 ～ 公共施設での整備、賛同する民間施設との連携

### 1 整備・利用の促進

引き続き、市公共施設におけるW i - F i フリースポット整備を進めていく。

また、瀬戸内しまなみ海道のサイクリング中に気軽に立ち寄って休憩ができ、地域の人々との交流を図ることができる“おもてなし”の場、「しまなみサイクルオアシス」等の民間施設においても、市の施策への賛同・協力を得ながらW i - F i フリースポット化の取組を進めていくこととしている。

公共施設だけでなく、民間施設も一体となって環境整備を行うことで、気軽にインターネットに接続できる「つながるまち 尾道」としてのPRを図り、尾道のブランド力を高めていく。

### 2 新たな課題への対応

施設によっては、夜間にW i - F i フリースポットに人がたむろする状況が見られ、周辺住民から不安の声が上がるとともに、ゴミの散乱などによる環境悪化などが懸念される。また、個別の登録手続きを必要としないことから、不適切なサイトの閲覧や犯罪・迷惑行為の懸念があり、状況を調査・確認した上で、必要な対策を検討する。

## 他団体へのアドバイス ～ 誰でも気軽に接続できる環境づくり

本市で整備を進めているW i - F i フリースポットは、事前認証・登録の手続きを不要としている。個別の登録手続き無しで利用可能とすることで、利用者の利便性向上を図り、活発な利用を促進することができる。